

検討対象候補施設の在り方等に関する整理表

第13回市民検討会資料より

施設等名称	市立図書館	大野北公民館 大野北まちづくりセンター	あさひ児童館	青少年学習センター	さがみはら国際交流ラウンジ	鹿沼公園
有識者意見 1	<ul style="list-style-type: none"> 施設がそもそもどのような役割が期待されているかを踏まえて検討すべき。 施設の更新にあたっては、効率性と機能の充実を両立させていかなければならない。 何を犠牲にして何を生かすのか固めていくとよい。 		<ul style="list-style-type: none"> 検討している内容が、今満足する以上に、次世代の人たちにとっても豊かなものであるのか考える必要がある。 重複機能を排除してできるだけ財政面から持続可能なスキームとして検討する作業が必要。 			
対象地域 1	市全体を対象	主に大野北地区の方を対象	主に大野北地区の方を対象	市全体を対象	市全体を対象	主に大野北地区の方及び淵野辺駅周辺の方を対象
在り方果たすべき役割	(平成30年12月中教審答申 2) ・人生を豊かにする読書や調査研究の機会を提供 ・地域住民のニーズに対応できる情報拠点としての役割の強化 ・まちづくりの中核となる地域住民の交流の拠点としての機能の強化 (令和2年3月図書館基本計画) ・誰にでも開かれた「知の拠点」として市民一人ひとりに寄り添い、より豊かな暮らしや、まちづくり、まちの魅力向上に資する「人とまちの未来を育む図書館」を目指す。	(平成30年12月中教審答申 2) ・地域の実態に応じた学習と活動を結び付け、地域づくりにつなげる新しい地域の拠点施設を目指すことが望まれている。 (公民館運営ガイド) ・「学び」を通じてコミュニティの情勢や地域の課題解決に向けた学習機会の充実 ・誰でも気軽に利用できる「地域のたまり場」的なロビー機能の充実 ・新たな利用者層を掘り起こすための広報等の充実 ・地域防災拠点としての充実	(平成30年10月児童館ガイドライン) ・遊び及び生活を通した子どもの発達を促進 ・子どもの安定した日常生活の支援 ・子どもと子育て家庭が抱える可能性のある課題の発生予防・早期発見と対応 ・子育て家庭への支援 ・子どもの育ちに関する組織や人のネットワークの推進	(令和2年3月子ども応援プラン) ・青少年の健全な育成を図る ・青少年に交流と活動、多様な体験活動の場を提供 ・青少年団体指導者の養成	(令和2年3月国際プラン) ・多文化理解の推進 ・外国人市民も暮らしやすい環境づくりの推進 ・外国人市民のまちづくりへの参画 ・様々な主体間のネットワークの充実 ・推進体制等の充実	・都市公園法に基づく都市公園で、住区基幹公園という種類の中の地区公園という種別にあたる。主として徒歩圏内に居住する人の利用に供することを目的とした公園 ・市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図るとともに、運動施設を有する都市公園として市民の健康増進を図る。(公園緑地マニュアル) ・「環境保全、景観形成、防災、レクリエーション」が都市公園の機能と効果として挙げられる。
検討委員・利用者等の意見 1	<ul style="list-style-type: none"> 図書館資料や視聴覚資料の充実を希望。 館内に本を読めるスペースをもっと増やしてほしい。 海老名市や大和市のような最新の図書館がうらやましい。 図書館としての機能を失ったところもあると聞いて、残念だ。 施設利用者アンケート(平成29年度に実施)における主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 建物が古いので建て替えてほしい。 利用者数の割に施設の狭さがひどい。待合場所も狭い(混んでいる)。 増設・新設を希望。飲食できるスペースを増やしてほしい。 公民館の人气が高く会議室がとりにくい。 【公民館】 ・普段利用していない人が入りづらい。 ・利用者が多いため、部屋が取りにくい。 【まちづくりセンター】 ・書類発行待ちや防災拠点としてのスペースが少ない。	<ul style="list-style-type: none"> 空調完備で快適に過ごせるため助かる。 子どもの遊び場として有意義に活用させていただいている。 遊ぶ道具やマンガを増やしてほしい(本の貸出しをしてほしい)。 	<ul style="list-style-type: none"> 防音の部屋やピアノの部屋、合唱の練習が出来る部屋を増設してほしい。 トイレや空調(冷暖房)設備を改善してほしい。(夕方は薄暗い。冬期の暖房が弱く寒さを感じる。) 	<ul style="list-style-type: none"> たくさんの外国人に来てほしい。 外から見ると一般の人が入りづらいため、より入りやすい場にしていきたい。 ロビーのような自由に集える場が必要。 施設活動内容を広く市民に伝える工夫がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆっくり休憩できる場所やお弁当を食べられる芝生広場など、休憩できる施設を求めている。 児童交通や遊具など既存施設のリニューアルや雨天時に利用できる施設の設置に期待している。 駐車場の狭さや混雑に不満があり、利用しやすい駐車場の整備を期待している。
	市民検討会で出された検討委員の主な意見		施設・設備の老朽化やスペースの不足、利用者の固定化を訴える意見が多く、新たなニーズに心えつつ、居心地の良い空間を備えた、次世代の人たちにとって使いやすい施設が求められている。			
	[将来にわたり、より多くの人に喜ばれる公共施設とするためのアイデア] ・施設を集約・複合化し、ニーズへの対応、新たな魅力創出、運営の効率化を図る ・カフェのようにおしゃべりや飲食ができる居心地の良い空間のある施設		・その時のニーズだけでなく、次世代の人たちにとっても使いやすい施設		[これからの鹿沼公園に求められる機能] ・バリアフリーや防犯等に配慮した安全・安心機能 ・池や樹木等の環境施設 ・図書館や植物観察園等の教養施設	・災害時の避難場所や防災拠点等の防災機能 ・芝生公園等の休憩・レクリエーション施設 ・利用しやすい駐車場や駐輪場
	市民検討会で出され意見を基に実施したオープンハウス及び市民アンケート(令和元年度に実施)で支持された意見					
管理者意見	<ul style="list-style-type: none"> 蔵書数が開館当初より大幅に増え、蔵書収容能力を越えている。書架を増設し続けた結果、館内が狭量化している。 ニーズの変化等により、利用率の低い諸室がある。 利用形態が、開館当初の貸出+読書・勉強(静かな空間)のニーズから多様化しており、居心地の良い空間の確保や飲食できるスペース等、滞在型利用も図りたい。 施設を複合化した場合は、新たな来館者を取り込めることが期待できる。 施設を複合化した場合は、他の施設と連携した、市民の課題解決につながる事業の開催や、資料及び情報提供等が行えるメリットがあると言える。 	<ul style="list-style-type: none"> 【公民館】 ・利用率が高いが、部屋や時間帯によって差がある。また、利用時間帯の区分について検討する余地もある。 用途を限定した諸室よりも、防音性を有した多目的に利用できる諸室が求められている。 活動コーナー(フリースペース)の利用が多いため拡充したいが、スペースに限りがある。 施設を複合化した場合は、諸室の相互利用やニーズに合わせた再編が見込める。 【まちづくりセンター】 ・利用者数に見合った、待合スペースや事務スペースの確保が必要。 外国人の利用も多く、個別相談できるスペースが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 独立した施設で職員が少ないため、トラブル時の対応が大変。 前面道路との距離が短く、交通安全面で課題がある。 園庭が狭い。 公園との連携など、屋外活動スペースの確保が望まれる。 個室の相談・指導ブースがあると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園との連携によるフィールドワークの事業なども検討したい。 用途が限定された諸室よりも、防音性を有し、多目的に利用できる諸室が望ましい。 施設を複合化した場合は、諸室の相互利用や、ニーズに合わせた再編が見込める。 施設の老朽化に不安があることから、青少年の居場所を守るため、複合化を含めた施設の再整備への期待がある。 利用者懇談会が平成30年に出した要望書において、複合化にあたっては、よりよい形で未来を担う青少年の活動拠点となることを要望している。 	<ul style="list-style-type: none"> 認知度を高めるといいう点では、多くの人が利用する図書館等の施設と複合化にはメリットがある。 施設を複合化した場合は、災害時の外国人支援の拠点となるスペースの確保が必要。 気軽に集まり、飲食もできるラウンジ空間が、施設の核となっている。 個別相談できるスペースが必要。 会議室の利用率は高く、会議スペースが不足の場合、同じビルの有料の会議室を借りている。 運営機構では、課題である認知度の向上も図られることから、施設の複合化を希望している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方に愛され、多くの方に利用いただけるような公園である。 公園の中に機関車が置いてあり、市民の方が主体的に活動し、保存に関わっていき、今後も引き続き連携して保存していきたい。(D52保存会) 駐車場、駐輪場の不適正利用及び公園内への自転車の乗入れに課題がある。 公園施設の老朽化、樹木の高木化と老朽化が課題である。
	施設管理者へのヒアリング(令和元年度に実施)における主な意見					

これからの施設は、それぞれの本来の役割を果たすとともに、市民同士の交流の促進やネットワーク化など、地域の拠点としての機能も求められているんだね!

施設・設備の老朽化やスペースの不足、利用者の固定化を訴える意見が多く、新たなニーズに心えつつ、居心地の良い空間を備えた、次世代の人たちにとって使いやすい施設が求められている。

各施設が抱えている課題の解決に向けて、施設を複合化し、ハード面を改善するとともに、施設間の連携による様々な相乗効果を期待する意見が多いね。

1 これまでの市民検討会で示した資料及び会議録を参照しています。
 2 中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について(答申)」